投資者の皆様へ

2026年7月27日

商　　号　SBIアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第311号
加入協会　一般社団法人資産運用業協会

SBI-Man リキッド・トレンド・ファンド：最近の動向について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
当ファンドはヘッジファンドの代表的なスタイルの一つである「トレンドフォロー」戦略に基づいて運用を行っています。その戦略名が示す通り、各市場（債券・金利、通貨、株式、商品）が上昇トレンドとなっても下落トレンドとなっても、そのトレンドに追随（フォロー）して収益獲得を目指します。
本日は、当レポートでSBI-Manリキッド・トレンド・ファンド（以下「リキッド・トレンド」）の最近の動向から、以下の2点をご報告いたします。

1. 好調なパフォーマンス

リキッド・トレンドの基準価額は、昨年4月のトランプ関税発表時を底に若干の上下動を繰り返しながらも上昇基調を続け、本年7月24日には14,285円まで上昇し最高値を更新しました。ファンド分析国内大手のウエルスアドバイザー株式会社によると、当ファンドの7月24日までの1年間のリターンは+44.99%となり、同社のヘッジファンドカテゴリーに含まれる53ファンド中、第1位に輝きました。昨年5月以降、主要先進国の株式市場や金価格の上昇トレンドをうまく捉えたことが、基準価額の上昇につながりました。

リキッド・トレンドの基準価額



設定（2024年8月16日）以来、2026年7月24日まで
出所：SBIアセットマネジメント株式会社

※本グラフは過去のパフォーマンスを表示したものであり、将来の上昇を示唆するものではありません。

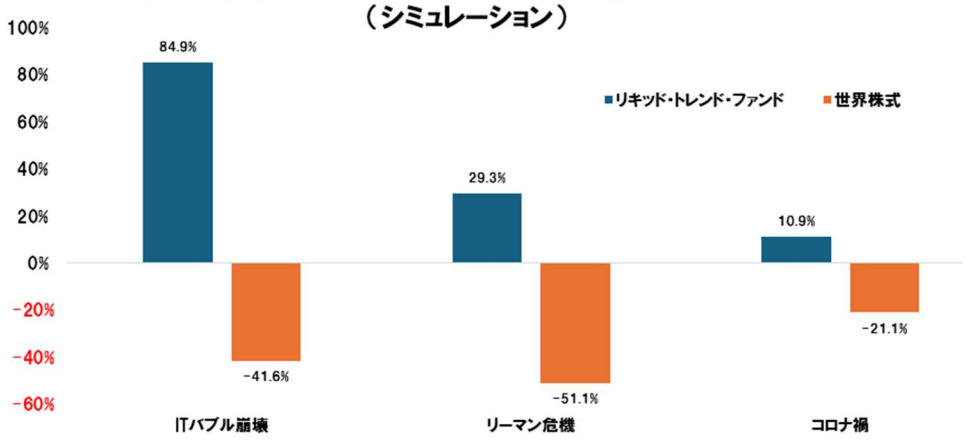
〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 過去の株式市場の下落トレンドで強みを発揮した「リキッド・トレンド」

リキッド・トレンドが現在、使用している運用モデルを過去の相場の動きにあてはめたシミュレーションによれば、ITバブル崩壊、リーマン危機、コロナ危機で世界株式が継続的に下落した局面でも、リキッド・トレンドは上昇していました。このように株式市場が継続的に下落トレンドをたどる局面でも、リキッド・トレンドは相対的に良好なパフォーマンスをあげる可能性が高いと考えられています。

世界の株式市場では、半導体株の値動きに少し前のような勢いがなくなり、データセンター投資の過剰感やハイパースケーラーと呼ばれるIT最大手の負債による資金調達への不安の声が聞かれるようになってきました。現時点で株式市場がすぐに大幅調整すると予想する市場参加者は少数派です。しかし、株式を多めに保有されている投資家の皆様におかれましては、株式市場が中長期的に下落トレンド入りする可能性に備える観点から、リキッド・トレンドをお客様のポートフォリオの一部に組み入れることが選択肢の一つになることも考えられます。

過去の危機局面における「リキッド・トレンド」のパフォーマンス
（シミュレーション）



リキッド・トレンドはシミュレーション、世界株式はモーニングスター世界株式（配当込み）指数、米ドルベース
出所：マン・グループ・ジャパン

ITバブル崩壊　：2000年3月末～2002年3月末
リーマン危機　：2007年6月末～2009年2月末
コロナ禍　：2020年1月末～2020年3月末

上記はシミュレーションおよび過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

以上

〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

（お買付時に直接ご負担いただく費用）

●お買付手数料　　上限 3.85%（税抜 3.5%）

（途中解約時に直接ご負担いただく費用）

●信託財産留保額　　上限　0.5%

（保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用））

●信託報酬　　上限 2.585%（税抜 2.35%）

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。
また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

≪ご注意≫

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

●投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
●投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
●投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
●銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

〇本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。〇本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。〇投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。〇投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。〇お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。